

全民連だより

ホームページアドレス <http://www.zenminren.gr.jp>

事務局

〒173-8501

東京都板橋区板橋二丁目66番1号
板橋区文化・国際交流課内

電話 03-3579-2018

FAX 03-3579-2309

平成二十三年度総会中止に伴い 全民連初の書面による審議を実施

初の総会中止

第三十六回(平成二十三年度)全民連総会及び第一回役員会を六月三十日(木)・七月一日(金)の開催に向けて準備してまいりましたが、去る三月十一日に発生しました東日本大震災の影響を考慮しまして、やむを得ず中止とさせていただきます。

全民連総会が中止になったのは昭和五十一年の発足以来初めての事です。また、(財)日本青年館と共催しています全国民俗芸能大会も中止と決定いたしました。

審議事項の決議について
総会で行う予定でありました予算案等の平成二十三年度審議事項は書面による決議となりました。

- ・平成二十三年度審議事項
- ・平成二十二年事業報告
- ・平成二十二年収支決算報告
- ・役員改選
- ・平成二十三年事業計画
- ・平成二十三年収支予算
- ・次期(平成二十四年度)総会開催地について
- ・全民連決議

平成23年度 歳出予算

費目	摘要	予算額(円)
会議費	役員会・次期総会準備	60,000
交際費	慶弔費等	30,000
事業費	ブロック別民俗芸能大会	600,000
	協賛金(5ブロック×120,000円)	
	被災加盟市町村への支援	800,000
	全民連だより他事業費	200,000
事務局費	通信費・事務用品など	385,610
予備費	予備費	1,500,000
計		3,575,610

全民連役員名簿

役職	市区町村(県名)	市区町村長名
会長	板橋区(東京)	坂本 健
副会長	花巻市(岩手)	大石 満雄
副会長	笠岡市(岡山)	高木 直矢
副会長	東栄町(愛知)	尾林 克時
理事	北上市(岩手)	高橋 敏彦
理事	仙台市(宮城)	奥山 恵美子
理事	二本松市(福島)	三保 恵一
理事	久喜市(埼玉)	田中 暄二
理事	三浦市(神奈川)	吉田 英男
理事	富山市(富山)	森 雅志
理事	金沢市(石川)	山野 之義
理事	本巢市(岐阜)	藤原 勉
理事	京都市(京都)	門川 大作
理事	曾爾村(奈良)	岡田 泰昌
理事	大阪市(大阪)	平松 邦夫
理事	庄原市(広島)	滝口 季彦
理事	まんのう町(香川)	栗田 隆義
理事	八女市(福岡)	三田村 統之
理事	みやま市(福岡)	西原 親
理事	高千穂町(宮崎)	内倉 信吾
理事	椎葉村(宮崎)	椎葉 晃充
監事	奈良市(奈良)	仲川 げん
監事	焼津市(静岡)	清水 泰

二十三年事業・予算の特徴
平成二十三年度では、総会・全国民俗芸能大会に充てていた予算のうち八十万円を東日本大震災、宮崎県霧島新燃岳噴火により被災した十六の加盟市町村への支援金に充てさせていただきました(下記参照)。また、財政状況を踏まえて、ブロック別民俗芸能大会協賛金を十

二万円に削減しました。
この度被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念いたします。

全民連の被災地支援

東日本大震災、宮崎県霧島新燃岳噴火により被災した加盟市町村で、希望する自治体(一六市町村)に対し、復興資金に充てるため平成二十三年度会費(負担金)を免除する。

また、前述の十六市町村で平成二十三年度実施予定の民俗芸能関連事業に対し、希望する自治体には支援金(八十万円)の範囲で補助金を交付し、残額については義援金として十六市町村に対し支給する。

平成24年度全民連総会は福島県棚倉町で開催します



今年2月8日に行われた御田植の様子
平成24年は1月28日(旧暦1月6日)です

第三十六回(平成二十四年度)全民連総会を国指定重要無形文化財「都々古別神社の御田植」で名高い福島県東白川郡棚倉町で開催します。開催時期は平成二十四年五月下旬(六月下旬を予定しています)。

詳しいスケジュールは全民連ホームページで随時お知らせします。

全民連新顧問・参加のご紹介

全民連顧問

- 湊屋治夫様 (文化庁文化財部伝統文化課長)
- 中嶋春洋様 (全日本郷土芸能協会理事長)

全民連参与

- 武藤高之様 (文化庁文化財部伝統文化課 文化財管理指導官)
- 石橋健一郎様 (文化庁文化財部伝統文化課 主任文化財調査官)

今後とも宜しくお願い致します。

訃報

- 全民連顧問 菴谷利夫様 二月二十八日ご逝去 (全日本郷土芸能協会理事長)
 - 福田一平様 九月三日ご逝去 (民俗芸能協会会長)
- 謹んでお悔やみを申し上げます。

加盟市区町村特集

花巻市

総合文化財センター
(岩手県花巻市)

ユネスコ無形文化遺産・早池峰神楽で名高い岩手県花巻市大迫町にて五月二十二日、



花巻市総合文化財センターが開館しました。

花巻市総合文化財センターは、多くの人を魅了する霊峰・早池峰山が育んだ自然や、麓で生活する人々の信仰から生まれた文化にスポットを当てる一方、展示方法にも工夫を凝らしており、早池峰の魅力を感じることが出来ます。

一階展示コーナーでは「早池峰の自然」「早池峰山岳博物館」「早池峰信仰と神楽の世界」「早池峰の自然とともに生きた古代人たち」の4コーナーで構成され、このうち「早池峰信仰と神楽の世界」では、神楽の舞台を再現したスペースや演目で使用される衣装のほか、神楽面七十八個を展示。人々の信仰の中から生まれた早池峰神楽の成り立ちや歴史に理解を深められる内容になっています。



ご利用案内

開館時間 午前九時～午後五時
休館日 年末年始(二十四年度より月曜休館)
入館料 一般二〇〇円、高校生以下一〇〇円

お問い合わせ先 花巻市総合文化財センター
住所 岩手県花巻市大迫町大迫三三三九一
電話 〇一九八(二九)四五六七

加盟市区町村のコーナー

本海獅子舞番楽

(重要無形民俗文化財 平成二十三年三月九日指定)

奥羽第一峰「鳥海山」(国指定史跡)の麓に位置する秋田県由利本荘市鳥海町には、獅子舞・番楽が伝承されています。

かつて鳥海山は山伏修験者が修行の場とした霊山でありました。山形県側の蔵岡口を順峯とし、秋田県側の矢島口を逆峯とする当山派(真言宗の僧 聖宝を祖とし、京都宇治醍醐寺三寶院を本山とする一派)の修験道です。

約三八〇年前の寛永年間(一六二四～一六四四)に京都醍醐寺の三寶院に属する修験者で、芸能に優れた本海行人が鳥海山の麓の村々に伝えた修験的な行事を取り入れた獅子舞と、番楽と称する芸能とを総称して「本海獅子舞番楽」と呼ばれており、鳥海地域には寛永三年(一六二六)に伝承されています。

獅子舞大先達ともいわれる本海行人は、京都から来た人だというだけで経歴は不詳ですが、鳥海の村々に教え、矢島で教え、荒沢を最後に七〇余年で没したとされ、その碑は同地の白山長根にあり、安永八年(一七七九)三月十八日のものには「本海行人」と刻まれ、下部に蓮座図の線刻があります。

かつて、本海獅子舞番楽は、鳥海町直根地域で七講中、川内地域で七講中、笹子地域で八講中など鳥海町全域にありましたが、その一部は昭和初期から戦時中に絶えたところもあります。

現在、本海獅子舞番楽を伝承している団体は、上百宅講中・下百宅講中・上直根講中・中直根講中・前ノ沢講中・下直根講中・猿倉講中・興屋講中・二階講中・天池講中・八木山講中・平根講中・提鍋講中の十三講中であり、平成二十三年三月九日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

獅子舞・番楽が途絶えたところでも、獅子頭はもちろん、番楽幕・太鼓・面などの道具が残っていることから、権現

秋田県由利本荘市

獅子として村人の心に宿り厚い信仰に支えられて来たもので、方々にある獅子舞番楽師匠の碑がそれを物語っています。

獅子舞や番楽には多くの道具を必要とし、代々講中で受け継ぎ、大事に取り扱われてきました。講中で作られたものや寄贈されたもので、寄贈のものには記銘のものが多く、中には二百年以上も受け継がれて来たものも少なくありません。道具には獅子頭・鳴り物(楽器)・面・冠り物・衣装・採り物・番楽幕・言立本などがありますが、いずれも製作年代がはっきりして、途中で手を加えていない古いものほど文化財としての価値が高いとされています。下百宅講中が所有する番楽幕には延享四年(一七四七)の年号が入っており、二百六十四年前のもので、また、最も古い道具とされる多宝院の獅子頭には、明暦四年(一六五八)の年号が入っており三百五十三年前に作製されたものが残されています。

本海獅子舞番楽は、一月の幕開きから始まり、虫追いや盆獅子などを行い、年末の幕納めで一年を締めくくっておりますが、その活動は個々の集落や講中毎となっております。一般には公開されておりません。由利本荘市では、毎年八月一日に「鳥海獅子まつり」を本海獅子舞番楽の競演会として開催しておりますので、是非一度ご覧いただきたいと思えます。

「鳥海獅子まつり」の詳細については由利本荘市教育委員会鳥海教育学習課(〇一八四一五七二二八八)までお問い合わせください。



下直根講中(御神楽)



下百宅講中(祓い獅子)

全民連関連事業(十月以降)

【協賛】

第53回ブロック別民俗芸能大会

○北海道・東北(10/30・日)

大曲市民会館(秋田県大仙市)

問・秋田県教育庁生涯学習課

電話・〇一八(八六〇)五一九二

○関東(11/27・日)

彩の国さいたま芸術劇場(さいたま市)

問・埼玉県教育庁生涯学習文化財課

電話・〇四八(八三〇)六九八一

○近畿・東海・北陸(11/20・日)

久御山町中央公民館(京都府久御山町)

問・京都府教育庁指導部文化財保護課

電話・〇七五(四一四)五九〇一

○中国・四国(11/27・日)

あわぎんホール(徳島市)

問・徳島県教育委員会教育文化政策課

電話・〇八八(六二二)三一六一

○九州(10/30・日)

小林市文化会館(宮崎県小林市)

問・宮崎県教育委員会文化財課

電話・〇九八(五二六)七二五〇

【後援】

第二十三回民俗芸能と農村生活を

考える会(2/4・土)

ドーンセンターホール(大阪市中央区)

問・社団法人全国農協観光協会

電話・〇三(六六五)〇〇〇九

【第26回国民文化祭】

京都2011

「心を整える」文化発信

(10/29・土～11/6・日)

国立京都国際会館ほか府内各会場

問・第26回国民文化祭京都府実行委員会

電話・〇七五(四一四)四二二五